

# 令和6年度 2年次生 学びのプラン

教科名	保健体育	単位数 (コマ数)	1単位 (1コマ)	履修年次	2年次			
科目名	保健	履修	必履修	開講	通年			
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート(大修館)					
<b>1 学習の目標</b> 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育成する。								
<b>2 学習の方法</b> ①授業について 教科書を中心とした学習であるが、ただ単に暗記するのではなく、自分の生活と健康が密接に関連していることを十分に理解し活用する事を目指します。 保健の授業は2年間行います。1年次には「現代社会と健康」「安全な社会生活」、2年次では「生涯を通じる健康」「健康を支える環境づくり」を勉強します。この授業で目指すことは卒業後からの各ライフステージの中で健康を確立することです。ですから2年間の学習で生きる知恵として十分理解しましょう。 ②授業の際に必要なもの 教科書・保健ノート・プリント類を保管するためのファイル								
<b>3 評価について</b> ①評価の観点								
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけている。							
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力が身につけている。							
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指した学習に主体的に取り組もうとしている。							
②評価の方法								
観点	材料	定期 考査	課題 テスト	単元 テスト	課題	ワーク シート	グループ ワーク	評価方法
知識・技能		○	○	○		○		考査等(ワークシートも含む)の達成度によって評価する A:80%以上 B:50%以上 C:50%未満
思考・判断・表現		○		○	○	○	○	考査等(ワークシート・グループワーク)の達成度によって評価する A:80%以上 B:50%以上 C:50%未満
主体的に学習に取り組む態度					○	○	○	課題、ワークシート、グループワークの取り組み状況によってA、B、Cを付けそれを数値化したものを合計して評価する。
<b>4 その他</b> ・ただ暗記するのではなく知識として定着して活用するのが目標です。主体的に学習に取り組みましょう。								

5 単元の目標・評価										
科目名	保健	単元名	生涯を通じる健康「生涯の各段階における健康」							
単元の目標	生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要があることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	生涯の各段階(思春期・結婚生活・中高年期)についての特徴と健康課題について理解できるようにする。また各段階における健康維持増進のための行動について理解できる。			生涯を通じる健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。			学習したことを活用し生涯の各段階における健康について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	生涯を通じる健康「労働と健康」							
単元の目標	労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変わってきたことを理解できる。働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できる。			労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理することができる。働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用することができる。			学習したことを活用し労働と健康について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	健康を支える環境づくり「環境と健康」							
単元の目標	人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できる。			健康を支える環境づくりにおける事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。			学習したことを活用し環境と健康について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	健康を支える環境づくり「食品と健康」							
単元の目標	食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解できる。安全性の確保のために、法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できる。			食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てることができる。			学習したことを活用し食品と健康について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	健康を支える環境づくり「保健・医療制度及び地域の保健・医療機関」							
単元の目標	生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であること。また、医薬品は、有効性及び安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	我が国には、保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関から保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できる。健康を保持増進するためには、検診などを通して保健・医療サービスなどの活用していくことなどが必要であることについて理解できる。医薬品は、三つに大別され、承認制度によって、販売に規制が設けられていることについて理解できる。			医薬品の制度とその活用について、医薬品には承認制度があり、販売に規制が設けられていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を整理すること。地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用することができている。			学習したことを活用し保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	健康を支える環境づくり「様々な保健活動や社会的対策」							
単元の目標	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できる。			ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てることができている。			学習したことを活用し様々な保健活動や社会的対策について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習に取り組んでいる。			

科目名	保健	単元名	健康を支える環境づくり「健康に関する環境づくりと社会参加」							
単元の目標	自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解する。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解する。									
育成を目指す力	傾聴力	発信力	想像力	創造力	計画力	知識活用力	分析力	課題発見力	自己肯定力	行動力
評価の観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
評価規準	自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて理解できる。			健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができている。			学習したことを活用し健康に関する環境づくりと社会参加について理解し、生涯を通じて健康な生活を目指し、主体的に学習・実習に取り組んでいる。			

6		年間計画							
学期	月	単元	項目	予定時数	考查				
前期	4	生涯を通じる健康	生涯の各段階における健康	01ライフステージと健康 02思春期と健康 03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康 05避妊法と人工妊娠中絶	8	前期期末考查			
	5								
	6								
	7								
	8						労働と健康	06結婚生活と健康 07中高年期と健康 08働くことと健康 09労働災害と健康 10健康的な職業生活	7
	9								
後期	10	健康を支える環境づくり	環境と健康	01大気汚染と健康 02水質汚濁、土壌汚染と健康 03環境と健康にかかわる対策 04ゴミの処理と上下水道の整備	7				
	11								
	12						食品と健康	05食品の安全性 06食品衛生にかかわる活動	4
	1								
	2								
	3						健康に関する環境づくりと社会参加	10さまざまな保健活動や社会的対策 11健康に関する環境づくりと社会参加	4
					後期期末考查				